

令和5年10月16日

令和6(2024)年度 総合型選抜学生募集要項
一部変更のお知らせ

令和5年7月に公開した『令和6(2024)年度 総合型選抜学生募集要項』の記載内容に一部変更がありますので、下記のとおりお知らせします。

記

令和6(2024)年度入学者からの授業料改定に伴い、『令和6(2024)年度 総合型選抜学生募集要項』のゼミナール入試「9. 入学手続 (2) 納入金」(12ページ)及びSAIL入試「11. 入学手続 (2) 納入金」(29ページ)に記載の授業料を以下のとおり変更しました。

【変更前】 授業料 267,900円 (令和6年度前期分) 年額 : 535,800円

【変更後】 授業料 321,480円 (令和6年度前期分) 年額 : 642,960円

なお、授業料改定に関する詳細については、以下をご確認ください。

【本学ホームページ「ニュース>お知らせ>2024年度(令和6年度)以降入学者(学士課程・大学院課程)の授業料を改定します」】

https://www.tuat.ac.jp/NEWS/info/20231013_01.html

令和6(2024)年度

総合型選抜学生募集要項

- ・ゼミナール入試（農学部 環境資源科学科）
- ・SAIL入試（工学部 生命工学科
生体医用システム工学科
化学物理工学科
機械システム工学科
知能情報システム工学科）



東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

重 要

本要項に記載した情報は令和5年（2023年）7月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/



目次

- ・令和6年度入試日程（ゼミナール入試、SAIL入試）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1ページ
- ・東京農工大学アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・ 2～3ページ
- ・ゼミナール入試学生募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～17ページ
（農学部 環境資源科学科）
- ・SAIL入試学生募集要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18～37ページ
（工学部 生命工学科・生体医用システム工学科・化学物理工学科・
機械システム工学科・知能情報システム工学科）
- ・共通所定様式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38ページ～

入試日程
(ゼミナール入試)
(SAIL入試)

東京農工大学
アドミッション・
ポリシー

ゼミナール
入試
(農学部)

SAIL
入試
(工学部)

共通
所定
様式

※本冊子には、ゼミナール入試とSAIL入試の出願書類が入っています。出願を希望する各自が本冊子を熟読の上、よく確認してから出願してください。

令和6(2024)年度ゼミナール入試日程

実施学部・学科	農学部 環境資源科学科
大学入学共通テスト	課す
出願期間	令和5年10月6日(金)～令和5年10月12日(木)
試験期日	○第一次選考(書類選考)結果通知発送日:令和5年11月10日(金) ○第二次選考(ゼミナールと面接):令和5年11月25日(土) ○大学入学共通テスト(3教科5科目): 令和6年1月13日(土)～1月14日(日)
合格発表等	○第一次選考:令和5年11月10日(金) ※結果通知発送 ○第二次選考:令和5年12月8日(金) ※結果通知発送 ○最終選考:令和6年2月13日(火)
入学手続期限	令和6年2月19日(月)

令和6(2024)年度SAIL入試日程

実施学部・学科	工学部 生命工学科・生体医用システム工学科・化学物理工学科・ 機械システム工学科・知能情報システム工学科
大学入学共通テスト	課さない
出願期間	令和5年9月1日(金)～令和5年9月8日(金)
試験期日	○第一次選考(書類選考)結果通知発送日:令和5年9月15日(金) ○第二次選考(最終選考):令和5年9月29日(金)
合格発表等	○第一次選考:令和5年9月15日(金) ※結果通知発送 ○第二次選考:令和5年11月1日(水) ○入学確約書の提出:令和5年11月24日(金)
入学手続期限	令和5年12月18日(月)

東京農工大学アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

（前文）

東京農工大学は、東京武蔵野に位置し、その歴史は、1874年に設置された内務省農事修学場および蚕業試験掛をそれぞれ農学部、工学部の創基とし、1949年に大学として設置され、前身校を含め長きに亘る歴史と伝統を有する大学です。この建学の経緯から、人類社会の基幹となる農業と工業を支える農学と工学の二つの学問領域を中心として、幅広い関連分野をも包含した全国でも類を見ない特徴ある科学技術系大学として発展してきました。

20世紀の社会と科学技術が顕在化させた「持続発展可能な社会の実現」に向けた課題を正面から受け止め、農学、工学およびその融合領域における自由な発想に基づく教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献するとともに、課題解決とその実現を担う人材の育成と知の創造に邁進することを基本理念としています。この基本理念を「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE : Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth) と標榜し、自らの存在と役割を明示して、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組んでいます。

（学士課程）

東京農工大学は、学士課程において、学生の自主的・自律的な学習活動を尊重し、科学技術系の大学に相応しい学識、知の開拓能力、課題探求能力、問題解決能力を兼ね備えた人材の育成を行っています。

本学の理念と以下に掲げる農工両学部の教育目的に応じて、本学で学ぶことに明確な目的を持った人の入学を求めています。特に、自然や科学技術に関心を持ち、意欲と主体性を持って勉学に励む人を、国内外から広く受け入れます。

農学部では、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに基礎的専門知識を授け、豊かな教養、高い倫理観と国際感覚を具備し、共生社会を構築して人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

工学部では、工学分野の科学技術に関する基礎および専門知識・技術を授け、大自然に対する真理の探究心と解決すべき諸問題の本質を見抜く能力を育成します。また、持続可能な社会の実現に生かすことのできる幅広い教養と専門知識を有し、人類社会に貢献できうる、先駆的で人間性豊かな人材を育成することを目的としています。

上記の目的を達成するため、本学は入学を希望する学生に対し、アドミッション・ポリシーにおいて、次のような資質、素養、能力等を求めます。

農学部（学士課程）

（学びの目的）

農学部においては、農学、生命科学、環境科学、獣医学分野の諸問題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広く知識を授けるとともに、専門の学芸を教授し、知的、道徳的及び応用能力を展開させて優れた能力を有する人材を養成することを目的とします。

（アドミッション・ポリシー）

- I. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。
- II. 人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、日本語で他者にわかりやすく表現できる者。
- III. 地域社会や国際社会における食料・生命・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、これらの問題解決に立ち向かう意欲をもつ者。

工学部（学士課程）

（学びの目的）

工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。

主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とします。

（アドミッション・ポリシー）

- I. 大自然の真理に対する探求心とモノ作りマインドを持ち、理工学分野の科学技術に関心があり、身に付けた知識を生かして主体的に考え、他人と協力・協働して、持続可能な社会の実現に立ち向かう意欲を持つ者。
- II. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有し、課題を解くことができ、理数系科目や英語科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している者。

ゼミナール入試

農学部 環境資源科学科

ゼミナール
入 試
(農学部)

目 次（ゼミナール入試）

1. 趣旨	6
2. アドミッション・ポリシー	6
3. 実施学部・学科、募集人員	6
4. 出願資格	7
5. 出願要件	7
6. 選抜方法・日程等	8
7. 出願手続等	9
8. 合格発表等	12
9. 入学手続	12
10. その他	13
志望理由書	15
活動報告書	16
志願者評価書	17

ゼミナール入試

1. 趣 旨

農学部環境資源科学科では講義と実験の体験を通じて、一般選抜では評価することが難しい専門分野への適性、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、基礎学力などを総合的に判定するAO方式のゼミナール入試を実施します。

2. アドミッション・ポリシー

環境資源科学科の教育目標およびアドミッション・ポリシー

(教育目標)

環境資源科学科は、人類が地球環境と調和して生きていくための科学的基盤を創成することを目指し、生物学、化学、物理学などの自然科学に関する基礎学力を身につけ、環境や資源に関する問題解決に貢献しうる洞察力と探究心をそなえた人材を養成します。

(アドミッション・ポリシー)

1. 環境や資源に関する諸問題に関心があり、そうした諸問題の解決に貢献したいという意欲を持つ者。
2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目ならびに国語・数学・英語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

ゼミナール入試で求める人物像

環境資源科学分野に強い興味と熱意を示すとともに、研究を志向し遂行できる素質を持ち、共に学ぶ仲間をリードしていけるような積極性と行動力があるなど、将来性のある人材を求めています。また、積極的に理科を志向し、かつ理科に適性を有し、環境資源科学科のアドミッション・ポリシーに即した方を求めています。

3. 実施学部・学科、募集人員

学部名	学科名	募集人員
農学部	環境資源科学科	3人

(注) 合格者数が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は一般選抜（前期日程試験）の募集人員に加えます。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を令和4年4月以降に卒業した者および令和6年3月までに卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和4年4月以降に修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者

5. 出願要件

次のすべてに該当する者

- (1) 学習成績が優秀な者
学校長から高い評価を得ている者（志願者評価書は、学校長に発行してもらいますが、学校ごとに発行できる志願者の人数は特に制限しません。）
- (2) 環境資源科学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者
- (3) 最終合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (4) 第二次選考合格者は、令和6年度大学入学共通テストにおいて指定する3教科5科目（8ページ参照）を必ず受験すること

6. 選抜方法・日程等

入学者の選抜は、出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容、ゼミナールの結果、面接および大学入学共通テストの成績を総合して選考します。志願者評価書は参考資料とします。

第一次選考と第二次選考、最終選考を行います。

なお、大学入学共通テストの成績の過年度利用は行いません。

	日 程	選 抜 方 法 等																	
(1)	令和5年10月6日（金） ～10月12日（木）	出願期間																	
(2)	令和5年11月10日（金）	第一次選考結果通知発送 出願書類（志望理由書、活動報告書、調査書）の内容に基づいて、総合的に評価します。 本人あてに選考結果を速達郵便で送付します。																	
(3)	令和5年11月25日（土）	ゼミナールと面接（第二次選考） 第一次選考合格者のみに実施します。 環境資源科学に関する実験を見学し、その直後に提出するゼミナール課題に基づいて、実験に対する基礎学力および探究能力を評価します。 さらに、面接（志望動機等を試問）を実施し、課題レポートと併せて、総合的に評価します。																	
(4)	令和5年12月8日（金）	第二次選考結果通知発送 本人あてに選考結果を速達郵便で送付します。 また、合格者には合格通知および入学志願者情報処理原票を同封します。																	
(5)	令和6年1月13日（土） ～1月14日（日）	大学入学共通テスト 第二次選考合格者に対して次に示す教科・科目の令和6年度大学入学共通テストを課します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>配点</th> <th>科 目 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学</td> <td>100</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」を1科目</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>「数学Ⅱ・数学B」を1科目</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>200</td> <td>「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>200</td> <td>英語（リスニングを含む。）を1科目（注）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>600</td> <td>3教科5科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）外国語（英語）は、リーディングを130点、リスニングを70点とします。</p>	教科	配点	科 目 名	数 学	100	「数学Ⅰ・数学A」を1科目	100	「数学Ⅱ・数学B」を1科目	理 科	200	「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	外国語	200	英語（リスニングを含む。）を1科目（注）	計	600	3教科5科目
教科	配点	科 目 名																	
数 学	100	「数学Ⅰ・数学A」を1科目																	
	100	「数学Ⅱ・数学B」を1科目																	
理 科	200	「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目																	
外国語	200	英語（リスニングを含む。）を1科目（注）																	
計	600	3教科5科目																	
(6)	令和6年2月13日（火）	最終選考合格発表 令和6年度大学入学共通テストにおいて、受験を課す教科・科目の合計得点が、大学入試センターが発表する該当教科・科目の平均点の合計の1.2倍以上である受験生を最終選考合格者とします。 （注1）理科（配点200点）の平均点は、物理、化学、生物、地学のそれぞれの平均点を合計した値を0.5倍したものとします。 （注2）外国語（英語、配点200点）の平均点は、リーディングの平均点の1.3倍とリスニングの平均点の0.7倍を合計した値とします。																	

7. 出願手続等

(1) 出願期間

令和5年10月6日（金）～10月12日（木）17時までに簡易書留にて必着

ただし、10月12日17時以降に到着したものは、10月10日までの発信局消印があるものだけに限り受理しません。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願先

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学教学支援部入試企画課

(3) 出願方法

本学所定封筒を使用し、簡易書留にて郵送してください。（※窓口への持参は受付不可）

(4) 出願書類等

本要項折り込みの本学所定用紙を使用してください。

出 願 書 類	留 意 事 項
① 入学志願票（本学所定用紙）	入学志願票裏面の「入学志願票等記入上の注意」を参照し、記入してください。なお、入学検定料の「振替払込受付証明書」を所定欄に確実に貼り付けてください。（郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押されていることを必ず確認してください。）
② 写 真 票（本学所定用紙）	たて4cm、よこ3cmの大きさにて出願以前3か月以内に撮影した上半身無帽のものを貼り付けてください。白黒・カラーは問いません。なお、試験時間中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影してください。
③ 受 験 票（本学所定用紙）	
④ 入学検定料払込用紙 （本学所定用紙） 入学検定料 17,000円	<p>本要項折り込みの本学所定の「入学検定料払込用紙」に必要事項を記入し、以下の点に留意の上、郵便局・ゆうちょ銀行窓口で払込んでください。ATM（現金自動預払機）での払込みはしないでください。</p> <p>払込み後、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押された「振替払込受付証明書」【大学提出用】を「入学志願票」の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>ア. 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>イ. 入学検定料の納付確認は、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印で行います。</p> <p>また、「振替払込請求書兼受領書」が受領証書となります。</p> <p>【本人保管用】として大切に保管してください。改めて大学から受領証書は発行しません。</p> <p>ウ. 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、一切返還しません。</p> <p>①第一次選考の結果、不合格となった場合（返還額13,000円）</p> <p>②入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合（返還額17,000円）</p>

	③入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額17,000円) (返還請求方法については巻末の共通所定様式⑥「納付金返還申出書」裏面を参照)
⑤ 志望理由書 (本学所定用紙)	志望理由等を記入してください。
⑥ 活動報告書 (本学所定用紙)	主要な活動の経歴、成果等を志願者が自筆で記入してください。 英検・漢検・数検・理検等の検定や、TOEFL・TOEIC等のスコアを取得している場合は、その証明書の写しなどを同封の上、記入してください。 なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の結果の記入ができない場合、成果獲得に向けた努力のプロセスを記入してください。
⑦ 志願者評価書 (本学所定用紙)	評価者として、出身(在学)学校の学校長、副校長、教頭または教諭が作成し、学校長が発行して厳封したものを提出してください。
⑧ 出身学校調査書	発行者において厳封したものを提出してください。
⑨ 受付用・連絡受信用シール (本学所定用紙)	氏名・性別および合格通知書等の送付先の住所を記入してください。
⑩ 受験関係書類送付用封筒 (本学所定封筒)	郵便番号・住所・氏名を明記し、344円分の郵便切手(速達)を貼り付けてください。(なお、郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金分の郵便切手を貼り付けてください。(定型郵便物(25g以内) + 速達料金))
⑪ 住民票記載事項証明書 (日本国籍を持たない志願者のみ)	在留資格および在留期間が明記されたもの
<p>(注) 1. 出願書類に記入する氏名・生年月日は、「住民票」記載のものを使用してください。(外国籍の志願者で、入学後も通称名の使用を希望する場合は、「住民票」に記載された通称名を使用してください。)</p> <p>2. 出願時に提出された書類は、いかなる事由があっても返却しません。必要に応じてコピーをとっておいてください。</p> <p>3. 記載事項が事実と異なる場合や不正があった場合には、受験および入学の資格が取り消されることがあります。</p> <p>4. 出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。出願者本人が作成する書類は日本語で作成してください。</p>	

※風水害等の災害に伴う入学検定料の免除について

本学では、風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情により、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、各入学試験において入学検定料を免除することがあります。

入学検定料免除の要件および申請方法については、教学支援部入試企画課まで問い合わせてください。

【問合せ先】 東京農工大学教学支援部入試企画課 電話：042-367-5837、5544

(5) 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とするものは、出願期間開始前のできるだけ早い時期に相談してください。

なお、申請内容によっては、本学の試験日までに対応できず、配慮できないこともありますので、なるべく早く申し出てください。

① 事前相談の方法

事前相談に当たっては、「②申請書の記入事項」に従い申請書を作成し、医師の診断書（原本）、障害者手帳（写）、その他参考となる資料等を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者等との面談等を行います。

② 申請書の記入事項（A4判縦。様式は自由ですが、以下の内容を記載してください。）

令和 年 月 日
東京農工大学長 殿
フリガナ 氏 名 生年月日・性別 住所 〒 電話番号 メールアドレス
東京農工大学を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。
記
1. 志願する学部・学科：農学部環境資源科学科 2. ゼミナール入試 3. 障害等の種類、程度 4. 受験上希望する配慮事項 5. 修学上希望する配慮事項

【提出・問合せ先】東京農工大学教学支援部入試企画課

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 電話：042-367-5837、5544

8. 合格発表等

日時・方法

第一次選考	令和5年11月10日（金）	郵送による結果通知（※11月10日発送）
第二次選考	令和5年12月8日（金）	郵送による結果通知（※12月8日発送）
最終選考	令和6年2月13日（火）午前10時	農学部掲示板（3日間掲示） ^{※1}

合否にかかわらず、選考結果を本人に送付します（速達郵便）。
なお、情報提供の一環として、本学ホームページ（<https://www.tuat.ac.jp/>）にも、2月13日（火）午前10時頃から3日間^{※1}、合格者の受験番号を掲載する予定ですが、公式の通知は掲示および送付する合格通知書によります^{※2}。

（※1）土日・祝日を除く。

（※2）電話その他による合否に関する問合せには、いかなる事由があっても応じません。

- ① ゼミナール入試第二次選考合格者は、本学の学校推薦型選抜に出願できません。
- ② ゼミナール入試第二次選考合格者は、令和6年度大学入学共通テストにおいて、ゼミナール入試の指定科目に加えて、本学の学部・学科が指定する科目を受験することで、本学の一般選抜（前期・後期日程試験）にも出願できます。詳細は一般選抜学生募集要項を確認してください。

9. 入学手続

入学手続の詳細は、合格通知書と同時に通知します。

（1）入学手続方法

- ① 入学料を納入し、入学手続書類を期日までに必着で郵送してください。
- ② やむを得ず郵送できない場合は、必ず事前に連絡してください。

期 日	令和6年2月19日（月）16時必着
郵 送 先	東京農工大学教学支援部学務課 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 問合せ先：042-367-5537
郵 送 方 法	「書留速達」で、必ず本学への配達日を確認してから送付してください。

（2）納入金

納入金	入学料	282,000円
	授業料	321,480円（令和6年度前期分）年額：642,960円

- ① 授業料は原則として口座振替（自動引落し）となります。引落日は、毎年、前期分は5月27日、後期分は11月27日となります。（口座振替手数料は大学が負担します。）
- ② 授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
- ③ 入学料および授業料の納入方法は、後日お知らせします。

(3) 入学手続提出書類

- ①本学受験票
- ②大学入学共通テスト受験票
- ③その他の提出書類は、合格通知書と同時に通知します。

(4) 留意事項

- 1) 最終選考合格者は入学を辞退することはできません。ただし、特別な事情があり、本学の学長が許可をした場合に限り、その入学辞退を認めます。この場合は、入学手続期限までに辞退の手続きを行ってください。
詳細は府中地区事務部学生支援室入学試験係までお問い合わせください（電話：042-367-5546）。
- 2) 合格者が、本学への入学手続を完了したときは、本学および他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。
- 3) 合格者が、令和6年2月19日（月）までに入学手続を完了しないときは、ゼミナール入試の合格者としての権利を消失します。また、1) の場合を除き、入学手続を完了しない者が本学および他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。
- 4) 合格通知書および入学手続書類が令和6年2月15日（木）12時までに届かない場合は、2月15日（木）12時から17時までに府中地区事務部学生支援室入学試験係へお問い合わせください（電話：042-367-5546）。

10. その他

- (1) 出願書類等に虚偽の記載をした場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (2) 受験者は、試験当日、必ず本学から交付された受験票を持参してください。受験票は、入学手続の際も必要となりますので、紛失しないよう保管しておいてください。
- (3) 本入学試験で合格した者の転学部・転学科は認めません。
- (4) 個人情報の取り扱い
個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱います。
 - 1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
 - 2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
 - 3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学の受験番号および大学入学共通テストの受験番号に限って、合否および入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送付します。
 - 4) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
 - 5) 上記1)～4)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。
- (5) 東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合には、本

学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経産省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

(6) ゼミナール入試案内を以下のページに掲載しています。適宜ご参照ください。

【令和6年度東京農工大学農学部環境資源科学科ゼミナール入試案内等】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/youkou/

ゼミナール入試学生募集要項に関する問合せ先

受付時間 月曜日から金曜日まで 9:00～12:00 13:00～17:00（土日・祝日を除く）
電話等によるお問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◎東京農工大学教学支援部入試企画課

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

電話：042-367-5837、5544

◎東京農工大学府中地区事務部学生支援室入学試験係

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

電話：042-367-5546

〈不測の事態が発生した場合〉

災害等により不測の事態が発生した場合、本学総合型選抜に関する情報提供は主に本学ホームページより行いますので、出願および受験の直前は特に注意してください。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/



対応するスマートフォン、携帯電話
で読み取ることができます。

志望理由書

(志願者本人作成)

(令和6年度 農学部ゼミナール入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

(以下の枠内は必ず志願者本人が記入してください。記入には黒のボールペンを用い、鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンなどは使用しないでください。)

志望学科	東京農工大学農学部 環境資源科学科						
フリガナ		男・女	生年月日	平成	年	月	日
氏名			出身学校 在学学校				

(環境資源科学科を志望する理由、学業への抱負など)

ここからきりはなして提出すること

SAMPLE

活動報告書

(志願者本人作成)

(令和6年度 農学部ゼミナール入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

(以下の枠内は必ず志願者本人が記入してください。記入には黒のボールペンを用い、鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンなどは使用しないでください。)

志望学科	東京農工大学農学部 環境資源科学科						
フリガナ		男・女	生年月日	平成	年	月	日
氏名			出身学校 在学学校				

◇主要な活動経歴、成果、努力のプロセス等について (理系科目に関連する活動 [理科、数学および農学、工学等の関連分野]、部活動、ボランティア等を含む)

ここからきりはなして提出すること

SAMPLE

◇語学検定・資格試験等の取得状況について

(英検・漢検・数検・理検等の検定名称および TOEFL・TOEIC 等の試験名称、スコア、取得日を記入し、必ず成績等のコピーを同封してください。)

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、資格・検定試験等に参加できなかった場合は、成果獲得に向けた努力のプロセスを記入してください。
- ※ 成績等の証明書はA4サイズにあわせ、コピーしてください。
- ※ 取得している検定等がない場合は、「取得なし」と記入してください。

志 願 者 評 価 書

(評価者作成)

(令和6年度 農学部ゼミナール入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

志 望 学 科	東京農工大学農学部		環 境 資 源 科 学 科	
フリガナ		男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日
志 願 者 の 氏 名				
評 価 者 の 氏 名	印			
志 願 者 と の 関 係				
評 価 者 の 連 絡 先 (勤務先)	住所 〒	—		
	電話	— —		

志願者の所見を記入してください。

SAMPLE

令和 年 月 日

学校所在地
学 校 名
学 校 長 名

職印

志願者評価書を作成される方へ

- ◇志願者評価書は出身(在学)学校の学校長、副校長、教頭または教諭が作成し、学校長が発行してください。
- ◇本書は推薦書ではありません。
- ◇作成された志願者評価書は、封筒に厳封のうえ、志願者本人にお渡してください。

ここからきりはなして提出すること

S A I L 入試

工学部 生命工学科
生体医用システム工学科
化学物理工学科
機械システム工学科
知能情報システム工学科

SAIL
入 試
(工学部)

目 次 (S A I L入試)

1. 趣旨	20
2. 選考基準、アドミッション・ポリシー	20
3. 実施学部・学科、募集人員	22
4. 出願資格	23
5. 出願要件	23
6. 選抜方法	23
7. 出願手続等	24
8. 試験日時・試験場	27
9. 合格発表等	28
10. 入学確約書の提出	28
11. 入学手続	29
12. その他	30
志望理由書	32
志願者評価書	33
特別活動レポートの表紙	34・36

S A I L 入 試

1. 趣 旨

(1) S A I L入試の趣旨

本学では、理数系が得意で、課題を解決する資質をもっている意欲的な学生を、すぐれた研究者・職業人へと導くための教育プログラム「S A I Lプログラム」を独自に開発し、施行しています。

工学部生命工学科では生命工学、生体医用システム工学科では生体医用工学、化学物理工学科では自然科学、機械システム工学科では機械システム工学や自然科学、知能情報システム工学科では情報工学や電気電子工学の分野に関するS A I Lプログラムに適した入学者を選抜するため、S A I L入試（総合型選抜）を実施します。

S A I L入試では、上記の分野に関して主体的に活動を行った者を対象とし、大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、活動成果のレポートや面接などの成績、さらに調査書等の内容を主な資料として総合的に評価します。

(2) S A I Lプログラムの理念

S A I Lプログラムは、潜在能力の高い理数系志望の高校生に対して、「既成の枠にとどまらず、多分野を統合発展させ、新しい分野を開拓する能力」を養成するために新たに実施されるものです。その教育プログラムには科学者・技術者としての船出（S A I L）に必要な4つの能力、（1）学習力（Study）、（2）分析力（Analysis）、（3）企画設計力（Innovative Design）、（4）論理的発信力（Logical Presentation）の養成を学士課程1～3年の到達段階として設定しています。これにより、研究者としてだけでなく、革新的職業人として産業界にも囑望される人材を育成することを目的とします。

2. 選考基準、アドミッション・ポリシー

(1) S A I L入試の選考基準

S A I L入試では、自然科学や技術に対する好奇心の旺盛さと、物事を論理立てて考える能力を評価し、将来、すぐれた研究者・職業人へと育つ見込みのある学生を選抜します。

各学科の選考基準は以下の通りです。

生命工学科	①ライフサイエンスとその応用への興味・好奇心を有するか、②実験結果や客観的事実をもとに、論理的な道筋により結論を導くことができるか、③質疑応答において、質問を正しく理解し、自分の考えをわかりやすく伝えることができるか
生体医用システム工学科	①受験者の科学やものづくり、およびその生体医用応用への興味・好奇心がうかがえるか、②結果から結論に至る道筋を論理的に組み立てることができるか、③質疑応答において、質問を正しく理解し、自分の考えをわかりやすく伝えることができるか
化学物理工学科	①受験者の自然や技術への科学的な興味・好奇心がうかがえるか、②結果から結論に至る筋道を論理的、数理的に組み立てることができるか、③自分の考えが正しく伝わるように自分の言葉でわかりやすく説明できるか

機械システム 工学科	①受験者の機械システム工学、あるいは自然科学への興味・好奇心がうかがえるか、②数学及び物理の理解に基づき問題解決に至る道筋を示すことができるか（数学、物理の基礎的な学力を有しているか）、③自分の考えを論理的に、筋道をたててわかりやすく説明できるか
知能情報システム 工学科	①課題を体系的に捉え、システムを設計し実装する能力を身につけているか、②物事を論理立てて思考し、問題解決に至る道筋を示すことができるか、③自分の考えを論理的に説明することができるか

(2) 各学科の教育目標とアドミッション・ポリシー

生命工学科	(教育目標) 生命工学科は、生命に関連する科学技術全てを包含するため、極めて多彩な学問領域を取り扱います。これらの学問領域の基礎知識を網羅的に習得した上で、最先端の技術力、論理的な思考力・実行力および国際的コミュニケーション能力を身につけた、あらゆる生命工学分野のニーズに即応して活躍できる国際的な技術者・研究者を養成します。
	(アドミッション・ポリシー) 1. 最先端の生命工学分野に強い関心があり、研究者・専門技術者として社会のニーズに対応しつつ活躍したいという意欲を持つ者。 2. 生物学・化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。
生体医用システム 工学科	(教育目標) 生体医用システム工学科は、現代医療における計測・診断技術に必要な物理学や電子情報工学等を融合した形で体系的に学ぶことで、医療にかかわる工学技術と生物学・医学とを総合的かつ深く理解する能力を有し、従来の学問体系に捉われない柔軟な発想のもとに革新的な生体医用工学技術の研究開発を行うことができる人材を養成します。
	(アドミッション・ポリシー) 1. 工学的アプローチによる医療技術の研究開発に関心があり、物理学や電子情報工学といった工学技術を融合的に学び新たな生体医用工学技術を創出したいという意欲を持つ者。 2. 物理学・化学・生物学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。
化学物理工学科	(教育目標) 化学物理工学科は、化学と物理の両方を総合的に学ぶことで、社会的ニーズが高まっているエネルギー・環境等のグローバルな課題に果敢に挑戦し、それらを解決できる実践力を涵養します。さらに、課題の全体像をシステムとして俯瞰し、ブレイクダウンし、さらに数理的に取り扱うことで課題の俯瞰・詳細化・最適化を行い、基本原理に立脚した要素技術・システムを提案し開発できる高度グローバルエンジニアを養成します。
	(アドミッション・ポリシー) 1. 化学・物理学全般はもちろんのこと、エネルギー、新素材、環境などに関心があり、課題に対して化学と物理学の両視点・方法論から問題を分析して、新しい解決策を創造し、国際的な視野を持つエンジニアとして活躍したいという意欲を持つ者。 2. 化学・物理学等の理科系科目、ならびに数学・英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

機械システム 工学科	(教育目標) 機械システム工学科は、機械システム工学の発展と革新を通じて、持続可能かつスマートな社会を実現し、人類のフロンティアを開拓するイノベーション人材を育成します。数学・物理を基盤として機械システム工学全般に係る基盤教育を推進するとともに、機械物理科学と知能情報技術等の先端知識や、分野横断的な知を融合した専門教育を実施します。知的な好奇心、洞察力と創造力、社会性と倫理観、課題解決力、語学力と国際性を発揮して世界で活躍する技術者を養成します。
	(アドミッション・ポリシー) 1. 機械システム工学全般に関心があり、持続可能かつスマートな社会を実現し、また人類のフロンティアを開拓すべく機械システム工学を発展・革新させたいという意欲を持つ者。 2. 数学・物理学等の理数系科目、ならびに英語等の基礎科目にも十分な学力を有している者
知能情報システム 工学科	(教育目標) 知能情報システム工学科は、人間と親和性の高い知的な情報システムの創出ならびに次世代の情報社会の基盤となる高度情報システムの構築に必要な教育研究を行います。コンピュータのしくみやプログラミングなど情報工学の基礎から最新の人工知能まで、知能情報システム工学の専門技術を幅広く習得し、現代社会が抱える諸問題の解決に貢献する高度ITイノベーション人材を養成します。
	(アドミッション・ポリシー) 1. 先端的な情報システムの構築、知能情報技術の創出など、新しい情報システムを創り出すことに関心があり、最先端技術の研究者・技術者としてグローバルに活躍したいという意欲を持つ者。 2. 数学・物理学等の理数系基礎科目、ならびに英語・国語等の基礎科目に十分な学力を有している者。

3. 実施学部・学科、募集人員

学部名	学科名	募集人員
工学部	生命工学科	7人
	生体医用システム工学科	6人
	化学物理工学科	4人
	機械システム工学科	5人
	知能情報システム工学科	7人

(注) 合格者数が募集人員に満たなかった場合、その欠員分は一般選抜（前期日程試験）の募集人員に加えます。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）または中等教育学校を卒業した者および令和6年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者および令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号）
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和6年3月までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準（平成17年文部科学省告示第137号）を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（平成17年文部科学省告示第167号）
 - ④文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）および令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者

なお、入学資格審査を希望する者は、本学教学支援部入試企画課にお問い合わせください。

【問合せ先】東京農工大学教学支援部入試企画課 電話：042-367-5837、5544

5. 出願要件

次のすべてに該当する者

- (1) 学習成績が優秀な者
志願者評価書（生命工学科と生体医用システム工学科および化学物理工学科志願者のみ提出）は、学校長が発行して厳封されたものを提出してもらいますが、学校ごとに提出できる志願者の人数は特に制限しません。
- (2) 本学生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科における勉学を強く志望し、第一志望とする者
- (3) 最終合格した場合は必ず入学することを確約できる者

6. 選抜方法

入学者の選抜は、第一次選考および第二次選考により合格者を志望学科ごとに決定します。

(1) 第一次選考

以下の内容について総合的に判断して、書類選考を行います。

- ・志望理由書

- ・特別活動レポート
 - 生命工学科：自然科学に関するもの
 - 生体医用システム工学科：科学やものづくりに関するもの
 - 化学物理工学科：自然科学に関するもの
 - 機械システム工学科：工学もしくは自然科学に関するもの
 - 知能情報システム工学科：情報工学や電気電子工学に関するもの
- ・調査書

(2) 第二次選考（第一次選考合格者のみ実施します。）

各学科の選考方法は以下の通りです。

生命工学科	特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、理科に関する基礎学力と論理的な思考力、さらに潜在的な能力を総合的に評価します。
生体医用システム工学科	特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接を実施し、特別活動に対する理解と論理の進め方、ならびに、物理学と数学に関する基礎学力、理工学全般にかかわる潜在的な能力を総合的に評価します。
化学物理工学科	特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーション（10分）とレポートおよびプレゼンテーションの内容に関する質疑応答（20分）を含む面接を実施し、特別活動に対する理解や論理の進め方など、自然科学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。
機械システム工学科	特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションとその内容に関する質疑応答を含む面接、および数学と物理に関する口頭試問を実施し、特別活動に対する自発的な取り組み方、理解と論理の進め方、数学と物理に関する基礎学力など機械システム工学と自然科学にかかわる潜在的な能力を総合的に評価します。
知能情報システム工学科	特別活動レポートの内容に関するプレゼンテーションと、その内容に関する質疑応答を通じた問題解決能力や論理的思考力の確認および数学に関する基礎能力の確認を含む面接を行い、特別活動に対する理解や論理の進め方など、情報工学や電気電子工学に対する潜在的な能力を総合的に評価します。

7. 出願手続等

(1) 出願期間

令和5年9月1日（金）～9月8日（金）17時までに簡易書留にて必着

ただし、9月8日17時以降に到着したものは、9月6日までの発信局消印があるものに限り受理しません。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) 出願先

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学教学支援部入試企画課

(3) 出願方法

本学所定封筒を使用し、簡易書留にて郵送してください。（※窓口への持参は受付不可）

(4) 出願書類等

本要項折り込みの本学所定用紙を使用してください。

出 願 書 類	留 意 事 項
① 入学志願票（本学所定用紙）	ア. 出願後の志望学科の変更は認められません。 イ. 入学志願票裏面の「入学志願票等記入上の注意」を参照し、記入してください。 なお、入学検定料の「振替払込受付証明書」を所定欄に確実に貼り付けてください。（郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押されていることを必ず確認してください。）
② 写真票（本学所定用紙）	たて4 cm、よこ3 cmの大きさにて出願以前3か月以内に撮影した上半身無帽のものを貼り付けてください。白黒・カラーは問いません。なお、試験時間中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影してください。
③ 受験票（本学所定用紙）	
④ 入学検定料払込用紙 （本学所定用紙） 入学検定料 17,000円	本要項折り込みの本学所定の「 入学検定料払込用紙 」に必要事項を記入し、以下の点に留意の上、郵便局・ゆうちょ銀行窓口で払込んでください。ATM（現金自動預払機）での払込みはしないでください。 払込み後、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押された「 振替払込受付証明書 」【大学提出用】を「 入学志願票 」の所定欄に貼り付けてください。 ア. 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 イ. 入学検定料の納付確認は、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印で行います。 また、「振替払込請求書兼受領書」が受領証書となります。 【本人保管用】として大切に保管してください。改めて大学から受領証書は発行しません。 ウ. 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、一切返還しません。 ①第一次選考の結果、不合格となった場合（返還額13,000円） ②入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合（返還額17,000円） ③入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額17,000円） （返還請求方法については巻末の共通所定様式⑥「納付金返還申出書」裏面を参照）
⑤ 志望理由書（本学所定用紙）	志望理由等を記入してください。
⑥ 志願者評価書（本学所定用紙） *生命工学科、生体医用システム工学科および化学物理工学科志願者のみ	評価者として、出身（在学）学校の学校長、副校長、教頭または教諭が作成し、学校長が発行して厳封したものを提出してください。 提出できない者については、その理由書を提出すること。
⑦ 特別活動レポート （本学所定の表紙を添付）	本学所定の表紙を添付し、特別活動に関するレポートを作成してください。レポートの内容は、生命工学科は自然科学に関するもの、生体医用システム工学科は科学やものづくりに関するもの、化学物理工学科は自然科学に関するもの、機械システム工学科は工学もしくは自然科学に関するもの、知能情報システム工学科は情報工学や電気電子工学に関するものとし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定していた特別活動を完了できていない場合、現時点までの取り組み状況と成果獲得に向けた努力のプロセスを記入してください。なお、レポートの内容・形式・分量は表紙に記載されている指示に従ってください。

<p>⑧ 出身学校調査書</p>	<p>ア. 文部科学省で定めた様式により、出身学校の学校長が作成し 厳封してください。 イ. 高等学校卒業程度認定試験合格者並びに大学入学資格検定合格者は、その合格成績証明書をもってこれに代えます。なお、合格成績証明書に免除科目がある場合は、当該科目についての成績証明書も併せて提出してください。 ウ. 専修学校高等課程の学科を修了した者および修了見込みの者は、その成績証明書をもってこれに代えます。 エ. ア～ウ以外の者は、出願資格を有することの証明書および成績証明書をもってこれに代えます。 オ. 次の (i) ～ (iii) に該当する場合には、 ①卒業（見込）証明書に加えて②単位取得証明書または成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等の入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。 ※なお、出身学校長において②の資料を発行できない場合は、卒業（見込）証明書に加えてその旨を記した証明書等の提出をもって代えることができます。 (i) 「指導に関する記録」が保存年限(5年)を超えている場合 (ii) 指導要録が保存年限(20年)を超えている場合 (iii) 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合</p>
<p>⑨ 受付用・連絡受信用シール (本学所定用紙)</p>	<p>氏名・性別・志望学科および合格通知書等の送付先の住所を記入してください。</p>
<p>⑩ 受験関係書類送付用封筒 (本学所定封筒)</p>	<p>郵便番号・住所・氏名を明記し、344円分の郵便切手（速達）を貼り付けてください。（なお、郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金分の郵便切手を貼り付けてください。（定型郵便物（25g以内）＋速達料金））</p>
<p>⑪ 住民票記載事項証明書 (日本国籍を持たない志願者のみ)</p>	<p>在留資格および在留期間が明記されたもの</p>
<p>(注) 1. 出願書類に記入する氏名・生年月日は「住民票」記載のものを使用してください。（外国籍の志願者で、入学後も通称名の使用を希望する場合は、「住民票」に記載された通称名を使用してください。） 2. 出願時に提出された書類は、いかなる事由があっても返却しません。必要に応じてコピーをとっておいてください。 3. 記載事項が事実と異なる場合や不正があった場合には、受験および入学の資格が取り消されることがあります。 4. 出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。出願者本人が作成する書類は日本語で作成してください。</p>	

※風水害等の災害に伴う入学検定料の免除について

本学では、風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情により、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、各入学試験において入学検定料を免除することがあります。

入学検定料免除の要件および申請方法については、教学支援部入試企画課まで問い合わせてください。

【問合せ先】 東京農工大学教学支援部入試企画課 電話：042-367-5837、5544

(5) 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある者で、受験上および修学上の配慮を必要とするものは、出願期間開始前までに相談してください。

なお、申請内容によっては、本学の試験日までに対応できず、配慮できないこともありますので、なるべく早く申し出てください。

① 事前相談の方法

事前相談に当たっては、「②申請書の記入事項」に従い申請書を作成し、医師の診断書（原本）、障害者手帳（写）、その他参考となる資料等を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において志願者等との面談等を行います。

② 申請書の記入事項（A4判縦。様式は自由ですが、以下の内容を記載してください。）

令和 年 月 日
東京農工大学長 殿
フリガナ 氏 名 生年月日・性別 住所 〒 電話番号 メールアドレス
東京農工大学を受験したいので、下記のとおり事前に相談します。
記
1. 志願する学部・学科：工学部〇〇学科
2. SAIL入試
3. 障害等の種類、程度
4. 受験上希望する配慮事項
5. 修学上希望する配慮事項

【提出・問合せ先】東京農工大学教学支援部入試企画課

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 電話：042-367-5837、5544

8. 試験日時・試験場

(1) 第一次選考（書類選考）結果通知発送日・・・令和5年9月15日（金）

(2) 第二次選考（最終選考）

試験日時	令和5年9月29日（金） 集合時間は第一次選考結果通知時にお知らせします。
試験場	工学部構内 東京都小金井市中町2-24-16

9. 合格発表等

日時・方法

第一次選考	令和5年9月15日(金)	郵送による結果通知(※9月15日発送)
第二次選考	令和5年11月1日(水)午前10時	本学HP(https://www.tuat.ac.jp/)に3日間、合格者の受験番号を掲載します。

合否にかかわらず、選考結果を本人に通知します(速達郵便)。

電話その他による合否に関する問い合わせには、いかなる事由があっても応じません。

10. 入学確約書の提出

締切日	令和5年11月24日(金)
提出場所	東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

「入学確約書」の用紙は別途送付します。

11. 入学手続

入学手続の詳細は、入学確約書を提出した者に通知します。

(1) 入学手続方法

- ①入学料を納入し、入学手続書類を期日までに必着で郵送してください。
- ②やむを得ず郵送できない場合は、必ず事前に連絡してください。

期 日	令和5年12月18日（月）16時必着
郵 送 先	東京農工大学教学支援部学務課 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 問合せ先：042-367-5537
郵 送 方 法	「書留速達」で、必ず本学への配達日を確認してから送付してください。

(2) 納入金

納入金	入学料	282,000円
	授業料	321,480円（令和6年度前期分）年額：642,960円

- ①授業料は原則として口座振替（自動引落とし）となります。引落日は、毎年、前期分は5月27日、後期分は11月27日となります。（口座振替手数料は大学が負担します。）
- ②授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
- ③入学料および授業料の納入方法は、後日お知らせします。

(3) 入学手続提出書類

- ①本学受験票
- ②その他の提出書類は、入学確約書を提出した者に12月上旬に通知します。

(4) 留意事項

- 1) 最終選考合格者は入学を辞退することはできません。ただし、特別な事情があり、本学の学長が許可をした場合に限り、その入学辞退を認めます。この場合は、入学手続期限までに辞退の手続きを行ってください。
詳細は小金井地区事務部学生支援室入学試験係まで問い合わせてください（電話：042-388-7014）。
- 2) 合格者が、本学への入学手続を完了したときは、本学および他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。
- 3) 合格者が、令和5年12月18日（月）までに入学手続を完了しないときは、SAIIL入試の合格者としての権利を消失します。また、1)の場合を除き、入学手続を完了しない者が、本学および他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

12. その他

- (1) 出願書類等に虚偽の記載をした場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (2) 合格者は入学手続後、入学前教育を受けていただくこととなります。
- (3) 個人情報の取り扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- 1) 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
 - 2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
 - 3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学の受験番号に限って、合否および入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送付します。
 - 4) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
 - 5) 上記1)～4)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。
- (4) 東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合には、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経産省が国際平和・安全の維持の観点から不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。
- (5) S A I L入試案内および受験に関するQ&Aを以下のページに掲載しています。適宜ご参照ください。

【2024年度工学部S A I L入試案内（S A I L入試のパフレット・PDF）】

http://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/youkou/

掲載ページ→



入試パンフレットを
直接見る場合はこちら→



【S A I L入試受験に関するQ&A】

http://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/faq/jyukun_sail/



SAIL入試学生募集要項に関する問合せ先

受付時間 月曜日から金曜日まで 9:00～12:00 13:00～17:00 (土日・祝日を除く)
電話等によるお問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◎東京農工大学教学支援部入試企画課

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

電話：042-367-5837、5544

◎東京農工大学小金井地区事務部学生支援室入学試験係

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

電話：042-388-7014

〈不測の事態が発生した場合〉

災害等により不測の事態が発生した場合、本学総合型選抜に関する情報提供は主に本学ホームページより行いますので、出願および受験の直前は特に注意してください。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」】

https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/



対応するスマートフォン、携帯電話
で読み取ることができます。

志望理由書

(志願者本人作成)

(令和6年度 工学部SAIL入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

(以下の枠内は必ず志願者本人が記入してください。記入には黒のボールペンを用い、鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンなどは使用しないでください。)

志望学科	東京農工大学工学部			学科		
フリガナ		男・女	生年月日	平成	年	月 日
氏名			出身学校 在学学校			

(志望する理由、学業への抱負など)

SAMPLE						
--------	--	--	--	--	--	--

ここからきりはなして提出すること

志 願 者 評 価 書

(生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科)
(評価者作成)

(令和6年度 工学部SAIL入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

志 望 学 科	東京農工大学工学部		学科	
フリガナ		男 ・ 女	生年月日	平成 年 月 日
志願者の氏名				
評価者の氏名	印			
志願者との関係				
評価者の連絡先 (勤務先)	住所 〒	—		
	電話	— —		

志願者の所見を記入してください。

SAMPLE

令和 年 月 日

学校所在地
学 校 名
学 校 長 名

職印

志願者評価書を作成される方へ

- ◇志願者評価書は出身(在学)学校の学校長、副校長、教頭または教諭が作成し、学校長が発行してください。
- ◇本書は推薦書ではありません。
- ◇作成された志願者評価書は、封筒に厳封のうえ、志願者本人にお渡しください。

ここからきりはなして提出すること

特別活動レポート

(生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、
機械システム工学科)
(志願者本人作成)

(令和6年度 工学部SAIL入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

志望学科	東京農工大学工学部			学科		
フリガナ		男・女	生年月日	平成	年	月 日
氏名			出身学校 在学学校			

特別活動の内容	部活動 / 課題研究 / 体験教室 / その他 ()
題目	

ここからきりはなして提出すること

- ※ 特別活動レポートの表紙として、この用紙を付けて提出してください。
- ※ 特別活動レポートは裏面の注意をよく読んでまとめてください。

レポート作成注意事項

(生命工学科、生体医用システム工学科、化学物理工学科、機械システム工学科)

- 1) 特別活動レポートは、この用紙を表紙にし、A4判の用紙にまとめて綴じてください。
- 2) レポートの長さは図やグラフを含めてA4判用紙片面3ページ以内です。
- 3) レポートは、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献などのように項目を分けて具体的に作成してください。
- 4) レポートは手書きでも、パソコンで作成しても構いません。
- 5) 写真の使用なども自由です。
- 6) グループで実施した場合は、志願者が担当した部分が明確になるように記入してください。
- 7) その他、特別活動に関する資料を添付しても結構です。
- 8) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定していた特別活動を完了できていない場合、現時点までの取り組み状況と成果獲得に向けた努力のプロセスを記入してください。

特別活動レポート

(知能情報システム工学科)

(志願者本人作成)

(令和6年度 工学部SAIL入試)

受験番号	*
------	---

(*記入しないでください。)

志望学科	東京農工大学工学部	知能情報システム工学科		
フリガナ		男・女	生年月日	平成 年 月 日
氏名			出身学校 在学学校	

この用紙には、情報工学や電気電子工学、数学などの関連分野における、課外活動、課外研究、体験教室、資格取得、あるいは自主的に行ったプログラミングなど、情報科学に関する特別な活動の概要をまとめてください。

特別活動を行うに至った経緯や動機についても含めて記述してください。

内容の例は以下のとおりです。

- ・システム（ソフトウェアあるいはハードウェア）作成の場合
システムの目的、仕様、原理、アルゴリズム、使用言語、規模、工夫した点、得られた結果など
- ・課題研究・体験教室の場合
実験、調査、証明などを実施した目的、実施の方法、得られた結果、考察など
- ・資格取得の場合
取得した資格と得られた結果（資格の取得を通じて自身に向け将来をどのように生かすかの抱負など）
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定していた特別活動を行うことができなかった場合
現時点までの取り組み状況、結果獲得に向けた努力やプログラム作成などをしてください。

注意事項は以下のとおりです。

- ・1000字程度で簡潔にまとめてください。
- ・パソコン等を使用する場合は、枠内に貼ってください。
- ・グループで行った場合は、プロジェクト全体の経緯は最小限にとどめ、自分の担当した部分の内容について明確に説明してください。
- ・ここに記載した内容を裏付け資料を必ず添付してください。例えば、システムの仕様の詳細、アルゴリズムの詳細、実験結果や考察の詳細、システムのスナップショット、文化祭などでの展示の写真、マスコミなど報道された場合はその記事のコピー、資格証明書のコピーなどです。
- ・資料としてプログラムを添付する場合は、単にソースコードを羅列するのではなく、適宜コメントで説明を加えてポイントを示してください。また、プログラムは電子媒体ではなく紙に印刷して提出してください。

題目	
----	--

<hr/> <hr/> <hr/>

ここからきりはなして提出すること

SAMPLE

共通所定様式

※以下のものは、「ゼミナール入試」と「SAIL入試」
で共通の様式です。

- ①入学志願票・写真票・受験票
- ②入学検定料払込用紙
- ③受付用・連絡受信用シール
- ④総合型選抜受験関係書類送付用封筒（長3）
- ⑤総合型選抜出願書類用封筒（角2）
- ⑥納付金返還申出書

総合型選抜用〔ゼミナール入試、SAIL入試〕 (←入試の種類はいずれかを○で囲むこと。)

裏面の記入上の注意をよく読んで記入のこと。

令和6年度 東京農工大学入学志願票

受験番号*		
フリガナ	日本国籍を持たない者は下欄にレ印をつけること。	性別
氏名	平成 年 月 日 (才)	男 ・ 女
志望学部	志望学科	学科
フリガナ	学校所在地	
出願資格	平成・令和 年 月 卒業見込 卒業 業	学校所在地
フリガナ	電話	都・道・府・県
連絡先	電話(自宅)	
	(携帯)	
	(父母の連絡先)	
令和6年度大学共通テストで受験する教科・科目にレ印をつけること。 (ゼミナール入試に出願する者のみ)		
チエック欄	数学① (数I・数II)	外国語 (英語(リスニングを含む))
	数学② (数II・数III)	
	物理	理 科
	化学	生物
		地学

総合型選抜用〔ゼミナール入試、SAIL入試〕 (↑入試の種類はいずれかを○で囲むこと。)

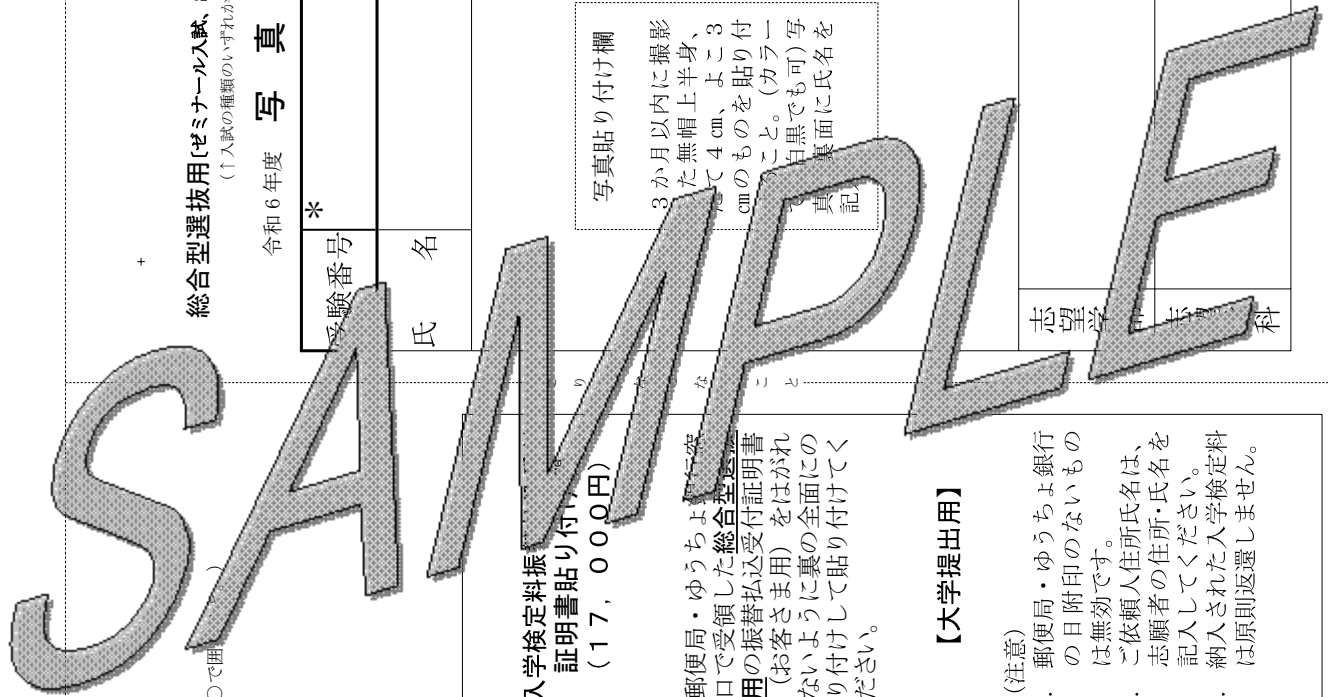
令和6年度 受験票

受験番号*	
氏名	

志望学部	学部
志望学科	学科

[注] 合格者は、入学手続の際、本受験票と大学入学共通テスト受験票(ゼミナール入試合格者のみ)を提示することになっていてるので大切に保管すること。

東京農工大学



入学検定料振
証明書貼り付け欄
(17,000円)

郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で受領した総合型選抜用の振替払込受付証明書(お客さま用)をはがれり付けて裏の全面にのり付けて貼り付けてください。

【大学提出用】

- (注意)
- 郵便局・ゆうちょ銀行の日付印のないものは無効です。
 - 依頼者の住所・氏名は、志願者の住所・氏名を記入してください。
 - 納入された入学検定料は原則返還しません。

写真貼り付け欄

3か月以内に撮影した無帽上半身、着たて4cm、よこ3cmのもの(カラー・モノクロでも可)を写真裏面に氏名を記入してください。

受験番号*	
氏名	

志望学部	学部
志望学科	学科

ま り は な さ な い こ と

SAMPLE

入学志願票等記入上の注意

1. 志願票と他の出願関係書類との記載事項が一致しない場合は、志願票の記載事項により、本学において処理する。
2. 黒のボールペンを用いてはつきり書くこと。
3. 入試の種類（ゼミナール入試またはSAIL入試）のいずれかを○で囲むこと。
（入学志願票、写真票、受験票の上部）
4. *印の欄は記入しないこと。（入学志願票、写真票、受験票）
5. 生年月日欄の年齢は令和6年4月1日現在で記入すること。
6. 出願資格欄は卒業もしくは卒業見込み高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）名または中等教育学校名を記入すること。
7. 学校所在地欄は都道府県名のみ記入すること。
8. 連絡先欄は出願から合格決定までの本人の居所を記入すること。（本学からの連絡はすべてこれによる。）
9. この票は、きりとり線以外で折りたたまないこと。
入学検定料の「振替払込受付証明書」を所定欄にはがれないように貼り付けること。（郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押されていることを必ず確認すること。）
11. 訂正する場合は、黒の二重線で消して黒字で訂正すること。

入学検定料払込用紙〔総合型選抜〕（ゼミナール入試、SAIL入試）

- ・ 本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名を記載し、志願する入試を○で囲んだ上で、出願期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口（ATM（現金自動預払機）は利用しないでください）で払い込んでください。
- ・ 右端の「振替払込受付証明書」【大学提出用】を、学志願票の所定欄にはがれないように裏の全面にのり付けして貼り付けて提出してください。（日附印のないものは無効）
- ・ 「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。
- ・ 払込手数料は、志願者本人の負担となります。

切り取ってご使用ください

大学提出用



00	東京	口座記号番号	金	額	料	金	備考
00	1208	463426	1	7000			
如倉名		国立大学法人 東京農工大学					
通信欄		令和6年度 入学検定料 東京農工大学 総合型選抜 ※ゼミナール入試・SAIL入試 (志願する入試を○で囲んでください。)					
ご依頼人		必ず窓口で払い込み、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。 志願者住所(郵便番号) ※ 志願者氏名(フリガナ) 様 (電話番号)					
日附印							

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第44194号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	加入者名	払込金額	ご依頼人住所氏名
00120-8-463426	国立大学法人 東京農工大学	17,000円	※(志願者住所氏名)
記載事項を訂正した場合はその欄に訂正印を押してください。 切り取らないでお出しく下さい。			
座記号番号	加入者名	金額	ご依頼人
208	国立大学法人 東京農工大学	17,000円	氏名
634	料	金	備考
6	日	附	印

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書 (お客さま用)

(ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人)

口座記号番号	加入者名	払込金額	ご依頼人住所氏名
00120-8-463426	国立大学法人 東京農工大学	17,000円	※(志願者住所氏名)
記載事項を訂正した場合はその欄に訂正印を押してください。 切り取らないでお出しく下さい。			
日附印のないものは無効	日	附	印

(承認番号 東第1247号)

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

【大学提出用】

- ①この払込用紙を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行窓口で払い込んでください。
【ATMは利用しないでください。】

②払込の際に日附印が押された「振替払込受付証明書」(お客さま用)を受取り、入学志願票の所定欄にはがれないように裏の全面にのり付けして貼り付けてください。

(注意)

- 郵便局・ゆうちょ銀行の日附印のないものは無効です。
- ご依頼人住所氏名は、志願者の住所・氏名を記入してください。

【本人保証】

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますの金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を折り、折り曲げたりしない。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、換えに預り証を必ずお受け取り。
- この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとことろ、おなまえ等は、加入者様へ通知されます。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

SAMPLE

この場所には、何も記載しないでください。

総合型選抜 受付用・連絡受信用シール

受付用シール

このシールは、入学願書の受付名簿として使用するのので、太線囲み部分の必要事項をかい書で丁寧に記入してください。

【受付用シール】

志望部	氏名	性別	志望学科名
農学部			環境資源科学科
工学部			生命工学科 生体医用システム工学科 化学物理工学科 機械システム工学科 知能情報システム工学科

←志望学科を○で囲む

連絡受信用シール

1. このシールは、「合格通知書」および「入学手続書類」を送付する場合の宛名として使用するものです。かい書で丁寧に記入してください。
2. 出願後住所を変更した場合は、すみやかに届け出てください。
3. *印の枠内は記入しないでください。
4. 「様」の字は消さないでください。

【連絡受信用シール】

第一次選考用（ゼミナール入試・SAI L入試） 第二次選考用（ゼミナール入試・SAI L入試）

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□

住所

様

*

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□

住所

様

*

第二次選考用（ゼミナール入試のみ）

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□

住所

様

*

入学手続書類送付用（ゼミナール入試・SAI L入試）

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□

住所

様

*

ここからきりはなして提出すること

納付金返還申出書

令和 年 月 日

東京農工大学 御中

フリガナ _____

氏名 _____ (印)

下記のとおり、入学検定料の返還を申し出ます。

記

1. 入試の種類 (ゼミナール ・ SAIL)
2. 志望学部・学科 _____ 学部 _____ 学科 _____
3. 返還請求の理由・返還金額
 ※該当するものに☑をつけてください
 ① 第一次選考の結果、不合格となった場合 (返還額13,000円)
 ② 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった) 場合 (返還額17,000円)
 ③ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 (返還額17,000円)
4. 現住所
 〒 _____
5. 連絡先電話番号

6. 振込口座 (※志願者本人名義の口座に限る)
 【銀行・信用金庫・組合などの場合】

「振替払込請求書兼受領証」(本人保管用) 貼り付け位置
 枠内に糊または両面テープで貼り付けてください。

金融機関	銀行	支店	預金種別	普通・当座 (いずれかに○)
口座番号				

【郵便局・ゆうちょ銀行の場合】

通帳記号		通帳番号	
店番	貯金種別	普通・当座 (いずれかに○)	口座番号

※本様式は入学検定料の返還請求の際にご利用いただくものです (詳細は次ページのとおり)。
 必要な方のみ、コピーしてご利用ください。

返還請求方法

表面の「納付金返還申出書」をコピーしてご利用ください。本様式以外での請求は受け付けません。

下記注意事項を参照し、必要事項を記入の上、「振替払込請求書兼受領証」(本人保管用)を納付金返還申出書の所定位置に糊または両面テープで貼り付け、本学教学支援部入試企画課(〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1)へ令和6年3月22日(金)(必着)までに郵送してください。

また、「振替払込受付証明書【大学提出用】」を未提出の場合には、こちらも必ず同封してください。

返還には受理後2か月程度の期間を要します。なお、返還にかかる振込手数料は請求者の負担とします。

・記入上の注意

「1. 入試の種類」は該当するものを丸で囲んでください。

「3. 返還請求の理由・返還金額」は申出書に記載の該当するものに☑をつけてください。下記理由を除き、一切返還を行いません。

①第一次選考の結果、不合格となった場合(返還額13,000円)

②入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった)場合(返還額17,000円)

③入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額17,000円)

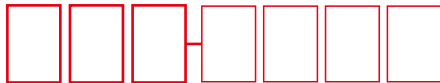
「6. 振込口座」はいずれか一方をご記入ください。

なお、志願者本人名義の口座に限ります。

※店番・口座番号等が不明の場合は各機関にお問い合わせください。

速 達

1. 344円分の切手をはり付けてください。
2. 住所・氏名および郵便番号を明記してください。



(総合型選抜受験関係書類在中)

SAMPLE

様

東京農工大学

教学支援部入試企画課

〒183-8538

東京都府中市晴見町 3-8-1

TEL 042-367-5837

郵便局の
窓口から
郵送して
ください。

1 8 3 - 8 5 3 8

東京都府中市晴見町 3-8-1

簡易書留

東京農工大学
教学支援部入試企画課 御中

SAMPLE
令和5年度総合型選抜出願書類在中

※志望する学部名を○で囲み、志望学科名を記入してください。

志望学部	農学部	工学部
志望学科		学科

志願者	住所	〒	-	氏名	フリガナ

※裏面を必ず確認してください。

SAMPLE

提出書類一覧表

この封筒の中に、次の書類が入っているかどうか確認し、チェックしてから提出してください。
一点でも不足書類があると出願を受理できません。必ず提出前に、書類が全て入っていることを確認してください。

提出書類		ゼミナール入試 (農学部)	SAIL入試 (工学部)
1	入学志願票 (入学検定料「振替払込受付証明書」 が貼ってあるもの) 写真票 受験票	}	}
	一連つづり (本学所定用紙)		
2	志望理由書	(本学所定用紙)	
3	活動報告書	(本学所定用紙)	
4	志願者評価書 (厳封のもの)	(本学所定用紙)	(生命工学科・生体医用システム工学科・ 化学物理工学科志願者のみ)
5	特別活動レポート	(本学所定の表紙を添付)	
6	出身学校調査書 (厳封のもの)		
7	受付用・連絡受信用シール	(本学所定用紙)	
8	受験関係書類送付用封筒 (344円分の切手を貼る)	(本学所定用紙)	
9	住民票記載事項証明書 (日本国籍を持たない志願者のみ)		

本冊子に掲載した情報は令和5年7月時点での内容であり、今後変更する可能性がありますので、本学からの発表についてご注意ください。

なお、入学者選抜方法等について、入学希望者および関係者へ速やかに周知すべき入試情報については、本学ホームページ (https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_gakubu/info/) に掲載することとしておりますので、ご確認ください。

交通案内

農学部 中央線

- 国分寺駅（新宿から約30分）
南口2番乗場から府中駅行きバス（明星学苑経由）
約10分 晴見町（東京農工大学前）下車

京王線

- 府中駅（新宿から約30分）
3番乗場から国分寺駅南口行きバス（明星学苑経由）
約7分 晴見町（東京農工大学前）下車

武蔵野線

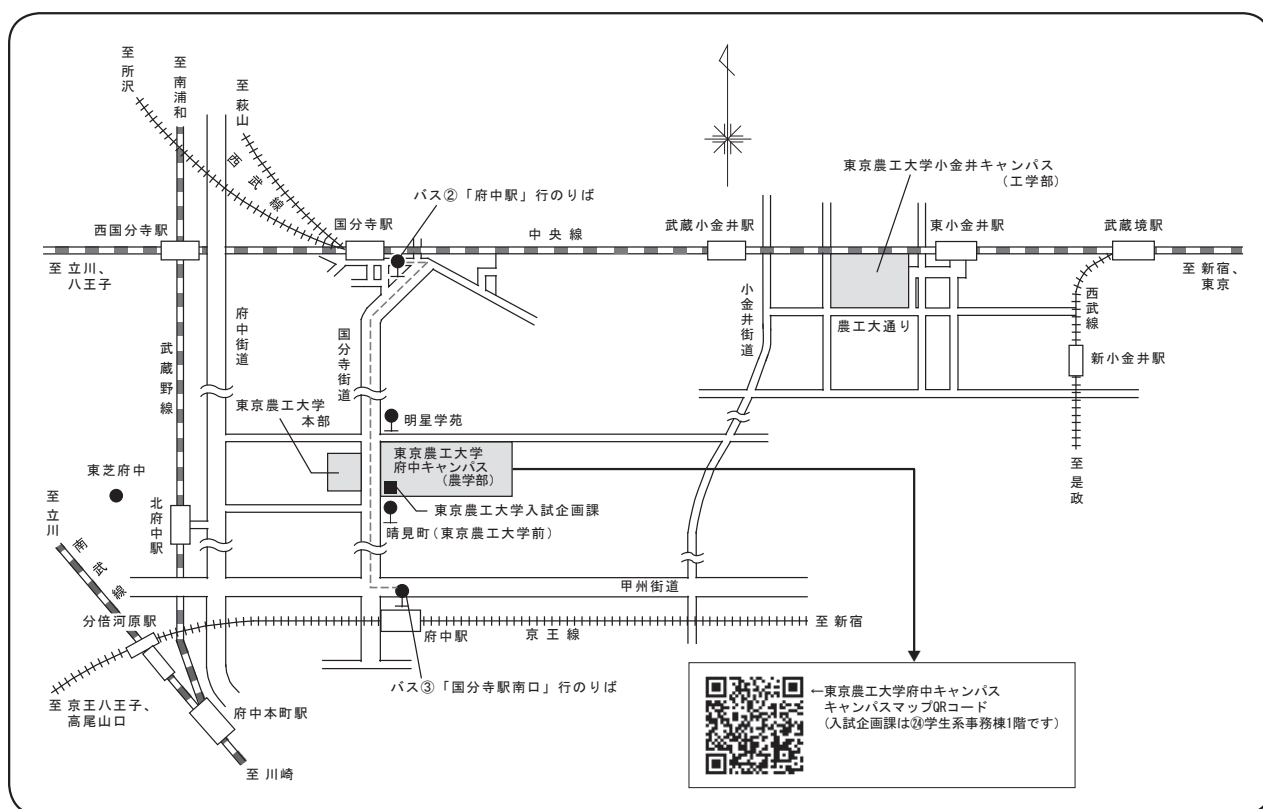
- 北府中駅から徒歩約12分

工学部 中央線

- 東小金井駅（新宿から約22分、立川から約12分）
南口から徒歩約8分 nonowa口から徒歩約6分

西武多摩川線

- 新小金井駅から徒歩約12分



所在地

本部 東京都府中市晴見町3-8-1
農学部 東京都府中市幸町3-5-8
工学部 東京都小金井市中町2-24-16
<https://www.tuat.ac.jp/>

入学試験に関する問合せ先

- ◎ 東京農工大学教学支援部入試企画課
〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1
電話 042-367-5837、5544

受付時間

月曜日～金曜日（土日、祝日を除く）

9:00～12:00、13:00～17:00

電話等による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。